

# 令和元年度 学力向上に係る効果的な取組事例

## 学力向上は一年にしてならず ～学調分析からの取組サイクルの確立～

### 宮代町教育委員会・宮代町立須賀小学校

#### ○令和元年(平成31年)度6年生の学力経年変化(埼玉県学力・学習状況調査より)

学力の伸び	<b>算数</b>	H29小4	学力の伸び	H30小5	学力の伸び	H31小6	<b>国語</b>	H29小4	学力の伸び	H30小5	学力の伸び	H31小6
	県	5-B	2	6-C	2	6-A	県	6-C	2	6-A	2	7-B
	須賀小	5-C	3	6-C	6	8-C	須賀小	5-A	2	6-B	5	8-C

算数	区分	平均正答率 県との差		
		H29小4	H30小5	H31小6
		教科の領域等(小学校)		
数と計算		▲0.4	▲0.8	4.5
量と測定		▲6.2	▲1.1	20.7
図形		▲5.2	▲2.2	6.7
数量関係		1.6	▲0.8	9.9
評価の観点(小学校)				
数学的な考え方		▲1.9	0.9	13.4
数量や図形についての技能		▲2.2	▲1.8	7.9
数量や図形についての知識・理解		▲2.6	▲1.4	9.8
問題形式				
選択式		0.3	▲0.9	7.2
短答式		▲3.1	▲1.6	12.0
記述式		▲4.2	4.8	15.0

国語	区分	平均正答率 県との差		
		H29小4	H30小5	H31小6
		教科の領域等(小学校)		
話すこと・聞くこと・書くこと		▲3.3	▲3.9	9.1
読むこと		▲2.5	▲1.2	6.6
伝統的な言語文化と国語の特質		▲5.4	▲4.1	5.8
評価の観点(小学校)				
話す・聞く能力		▲1.8	0.4	2.6
書く能力		▲4.3	▲8.3	15.5
読む能力		▲2.5	▲1.2	6.6
言語についての知識・理解・技能		▲5.4	▲4.1	5.8
問題形式				
選択式		▲8.7	▲2.3	4.5
短答式		▲1.6	▲4.0	7.7
記述式		3.6	▲5.5	27.6

#### ○学力の伸びのひみつ



1 結果の概要	平均正答率	H29小4(平均)	H30小5(平均)	H31小6(平均)	県との差(平均)
県	62.2	6-C	6-A	7-B	2
宮代町	65.0	6-C	6-B	7-A	4
須賀小一県	6.5	5-A	6-B	6-C	3

2 本校児童の特長、学力階層別伸びの状況	対象	平均正答率	県との差
教科の領域等(小学校)	話すこと・聞くこと・書くこと	48.4	▲3.9
	読むこと	65.8	▲1.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する	63.5	▲4.1
評価の観点(小学校)	話す・聞く能力	58.3	0.4
	書く能力	38.6	▲8.3
	読む能力	63.9	6.6
	言語についての知識・理解・技能	63.5	5.8
	選択式	62.4	▲2.3
	短答式	63.3	▲1.6
	記述式	27.4	▲5.5

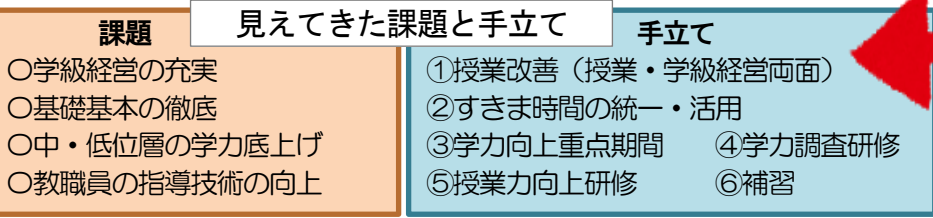
3-1 ようできた問題	3-2 課題のある問題	備考
「文の構成」を理解する。 本文のつながり方と構図の動きを理解する。 ことわざや慣用語の意味を理解し、適切に使う。 「物語」の内容を読み取る。	「格助詞」の活用を理解する。 「格助詞」の活用を理解し、適切に使う。 「物語」の内容を読み取る。 「文の構成」が分かるように図を使って文章を書ける。	09

4 効果があったと思われる取組	効果
グループを有効に「互に質問」や「確認」の役割を担い取り組んだ。 自主学習の中で、ことわざや慣用語の活用を行った。 文脈から正しい漢字を選択して使えるように、家庭学習で熟語や漢文での漢字練習を行った。 読解活動について手立てを、自分から考えるように促すようにした。 指名発表の中で、読解に即応し、グループに即座に答えを述べた。読解の意図を明確にした。学習に取り組んだ。 「物語」は、登場人物やいつどこでたれたか、たれた理由など、要する事項を整理した。	効果は4年次から継続して取り組んでいる。

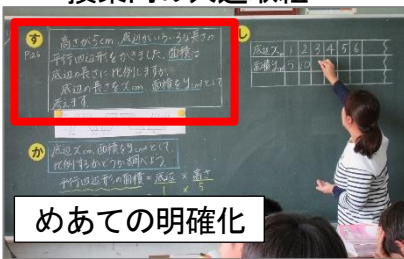
5 改善すべき取組(学力アップに向けた)	改善の方向
単元ごとに、文中から「主語・述語・修飾語」を意識させる指導を取り入れる。 「文章を書くときや話すときに、相手を意識した書き方話し方工夫すること」を指導する。 「説明文や資料から読み取る活動を取り入れる。」	スキルアップの時間を活用し、主語・述語・修飾語等の言語活動に取り組む。 「格助詞」の活用活動に取り組む。 「物語」に登場する人物の心情や、登場人物の行動の理由を、自分なりに読み取るように指導する。 「日常の中で、積極的に敬語を活用していく。」



#### ○手立ての紹介

##### ①授業改善(授業・学級経営の両面から)

###### ・授業内の共通取組



- ・学級経営を基盤とする学力向上  
全学級が「学級経営ランドデザイン(学力目標は赤枠)」を掲げる = 学級担任も学級経営のめあてを明確化する。
- ・「須賀小授業の約束」(学習規律)の徹底  
チャイム着席、あいさつ、学習用具の準備、学習姿勢(背筋ピン・聞く態度)等を全学級で徹底指導。



